

第13回厚生政策セミナー（2008年8月22日）

「新しい社会保障の考え方を求めて」

—医療・介護等の分野へ、準市場・社会市場からのアプローチと検証—
パネリストとしての発言要旨

メディアから見た本課題への視点

南 砂

読売新聞東京本社編集委員

1) 「社会保障制度改革」

～各国の経験に照らして日本の現状を考える

- 社会保障、その機能保護のための規制と、機能の有効性発揮のための条件整備
- 両者のかねあいはとれるのか、福祉は経済を活かすのか
- 経済市場にまかせる「市場原理主義」……アメリカ
- 準市場 quasi market の考え方による改革……イギリス
- 社会市場 social market の考え方
- 日本の進路は……

2) 日本の医療・介護が抱える問題を経済学の視点から

(ア) 医療保険制度

- 「医療制度の抜本改革」の長い議論を振り返って
- 医療に「市場原則の導入を」と叫ばれたことの意味
- 後期高齢者医療保険制度
- 混合診療問題と公的給付の範囲
- 保険者機能（保険制度とは何か）

(イ) 介護保険制度

- 創設の意義を振り返る
- 家族による介護が抱える諸問題の解決
- 医療費の無駄遣い「社会的入院」の解消
- 創設から現在までの経過と問題点
 - 介護業界と市場原理
 - 介護報酬と介護労働者の報酬
 - 外国人労働者は解決の鍵となるか